

大草谷津田いきものの里 自然観察会

初夏に出会えるトンボやチョウ

奥村和男（習志野市）

日 時：2025年5月18日（日）10:30～12:00 天候：曇り

参 加 者：27名（大人14名、子ども13名）、指導員4名

担当指導員：萩、西野、奥村、参加指導員：岡田

前日は大雨でしたが、観察会当日はなんとか天気が回復しました。参加者は27名。萩さんから参加者へ「日本にいるトンボは何種類でしょう？」「日本にいるチョウは何種類でしょう？」といった質問と、大草谷津田で見られるトンボやチョウの説明があり、いざ観察へ出発。

まずはカマキリの卵を見つけた参加者がいたので、カマキリの子ども探しをしました。子どもよりもお父さんやお母さんが懸命に網を振っていて、こういう親に育てられたら生き物に興味を持つ子どもが育つなと思いました（羨ましい！）。なかなかカマキリの子どもは見つからずでしたが……。西野さんが捕獲してくださり、観察することができました。

「緑色じゃないんだ！」と多くの人が驚いていました。次にハナイカダの花があつたので、みんなで観察をしました。「植物のからだは何でできていますか？」と質問したところ、小学生の子どもが「根・茎・葉」と答えてくれたので、「じゃあ 花ってなんだろう？」と考えてみました。「葉っぱかな！？」と答えてくれる子どもがいました。子どもの想像力や観察力って凄いですね。失わないようにしていきたいなと強く思いました。

田んぼ周辺では、オスのクマバチ採集をしました。クマバチに詳しい参加者の方に、「オスのクマバチは顔の前に三角の白斑があること。」や「オスのクマバチは花の周りでメスを探して飛んでいること。」などを解説してもらいました。その後、トンボ探しへ。各自ここでと思う場所でトンボ採集が始まります。シオヤトンボ、コフキトンボ、ヤマサナエ、ホソミオツネントンボ、カワトンボなどを観察できました。また、子ども達がタイコウチを3匹捕まえてくれました。

最後に萩さんが捕まえてくださっていたヤゴを観察。イトトンボとヤンマ？のヤゴの違い、タイコウチの呼吸器官の話などをしました。童心に帰って楽しんでいる大人や、目的の生き物を見つけようと懸命な子どもの姿を見て、観察会の大切さを実感した1日となりました。



クマバチゲット！？



何かいるかな～？？



イトトンボのヤゴ発見！！